

令和6年度(2024年度)放課後等デイサービス事業所における自己評価

作成:令和7年3月10日

事業所名 「すごろくクラブ」・「ドリーム&ホープ」

令和7年(2025年)2月実施 (回答:調査職員13名中13名)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	5	0	・外での活動が多く室内活動は少ない ・長期学校休業期間に10名を超える児童の受入れをした時は狭いと感じる(ドリーム&ホープ) ・長期学校休業期間には2階にも遊べる空間を作る必要がある(ドリーム&ホープ)
	2	職員の配置数は適切である	8	4	1	・人数はある程度整ったが、児童指導員相当や児発管の要件を満たす職員数はギリギリである(勤続年数の全国平均は4.5年程度。短過ぎる)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	6	2	・借家のため改造はできない ・階段に手摺と滑り止めを設置(ドリーム&ホープ) ・入口には量の段差を解消するためのスロープを設置(ドリーム&ホープ) ・玄関が階段である(すごろくクラブ) ・トイレが狭い(すごろくクラブ) ・遊戯室はバリアフリー(すごろくクラブ)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	4	2	・明確にPDCAサイクルと位置付けてはいないが打ち合わせはしている ・毎日の職員打ち合わせで行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	4	0	・保護者評価のアンケートは行っている ・ご意見をいただいた時はなるべく改善につなげようとしている ・アンケート集計後職員会議にて話し合い、改善がある場合は改善策を考えている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	4	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6	3	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	3	0	・事業所内での研修が多い ・事業内研修やZOOMでの外部研修を行って
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	0	・支援会議を行っている。ただし、非常勤職員も多いので全員参加は不可能 ・よく担当する職員を中心に評価して計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3	3	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	2	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	1	1	・外遊びを中心に子供が好む遊びを探している ・担当する子がやりたい事、行ってみたい所を取り入れている ・週の中でも色々な経験ができるよう活動を決めている ・長期学校休業期間は遠出をして様々な場所で活動している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	3	0	・子供が好む遊びを主眼にしている。国が想定している課題に合っているかはどうかは判らない
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	2	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	1	1	・打合せは行っているが遠方の学校への迎えがあるので短時間である ・学校迎えの時間が早い打ち合わせ時間が短くなるので職員個別に話すようにしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	3	・支援終了後に全職員で打ち合わせをすることは不可能 ・送りに行かず事業所に残っている職員は片付け後に話をしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	1	0	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	1	0	・半年に一度行っている
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	3	0	・意識して組み合わせているわけではなく、日頃の活動が合わせた形になっている	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	3	0	・要請があった場合は対応している	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	21	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 学校の予定は保護者からいただいている 学校との連絡調整は必要に応じて行っている 学校迎えの時に教師と情報交換を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	5	3	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児の受け入れは行っていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 必要性があると判断した時に園の見学を行ったことはある
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 要請があれば情報を提供する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	5	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 公園に行ったときに一般の子と関わることもある 公園や公共施設に遊びに来ている子達と交流することがある
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 日々の事務作業等に時間をとられるので参加する余裕がない 国が事業の質向上のために上げていることを8時間労働の中でこなす事は不可能であると考えている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳等で情報共有している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 行う余裕はない
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	2	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者から相談があった場合
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会はあるが、仕事をされている方が多く集まるのが困難 保護者会に入会する保護者も減っている 保護者で連携をとっている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 全体会議等で話し合っている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4	4	
	35	個人情報に十分注意している	12	1	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 週2回の会議を行っている
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	4	<ul style="list-style-type: none"> 地域に対して閉じてはいないが事業所側から発信もしていない
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 非常災害対策計画・洪水時の避難確保計画・消防計画・業務継続計画は策定している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 年に一度避難訓練は行っているが、まだ充分であるとは言えない 避難訓練を定期的に行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 年に一度以上研修を行っている 防犯カメラを設置した(すごろくクラブ)
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に同意を得て計画に記載している例がある
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの要請により配慮している 今までに重度のアレルギー症状の受入れはない 保護者に伺っている
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット報告書はあるが日々の業務に埋もれがちになり適切に機能していない 	